

## 会 議 録

会議の名称	令和元年度 第2回戸田市スポーツ推進審議会
開催日時	令和元年12月10日(火) 14時00分 ~ 15時30分
開催場所	戸田市役所 本庁舎5階 503会議室
議 題	審議事項 (1) 戸田市スポーツ推進計画に関する諮問について (2) 「スポーツ・レクリエーションに関する意識調査」の考察 (3) 戸田市スポーツ推進計画基本理念(案)
会議結果	事務局が提示した基本理念・目標案を基に、計画策定を進めていく。
会議の経過	別紙のとおり
会議資料	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 会議次第</li><li>・ 会議資料</li><li>・ 第2期スポーツ基本計画のポイント(国計画概要版)</li><li>・ 「埼玉県スポーツ推進計画」の概要(県計画概要版)</li></ul>

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	会議次第1 開会
会長	会議次第2 あいさつ
委員	会議次第3 議事
会長	はじめに、審議事項(1)「戸田市スポーツ推進計画に関する諮問について」事務局より説明願う。
事務局	<b>審議事項(1)について説明</b> 諮問書のとおり説明。
会長	質問等はあるか。
委員	質問等なし
会長	では、審議事項(2)「スポーツ・レクリエーションに関する意識調査の考察」について事務局より説明願う。
事務局	<b>報告事項(2)について説明</b> 令和元年度「スポーツ・レクリエーションに関する意識調査」の結果について、平成25年調査の結果と比較をしたうえで提示した。アンケート結果から課題を抽出し、その対応策・検討事項等について事務局から提示した。 課題① スポーツと関わる機会の醸成 課題② 施設や設備の充実 課題③ 競技力の向上 課題④ 地域資源を生かしたスポーツの推進
会長	質問等あるか。
副会長	一般の回答率が32.2%であるが、配布数・回答数はいくつか。
事務局	一般の対象者への配布数は2,400通、回答数772通。18歳以上の男女を無作為で抽出し、郵送で依頼した。督促状も送付している。
副会長	回答率が低いほど、関心のある人しか回答をしていないため、結果に偏りが出る。回収率は高い方が良いことは確かだが、30%台の回答率は標準的な数字である。
副会長	障がいのある方がスポーツを行うためのプログラムは何を行ってきたか。
事務局	2020年の東京パラリンピックの開催を控えていることもあり、ここ数年はこれまで以上に開催の機会を増やしている。パラスポーツフェスタや、パラ

	<p>リンピック 1 年前イベントを実施した。広報の方法はチラシ・広報誌等である。これまで参加者を集めることに苦慮していたが、今年 8 月に市内商業施設で実施したパラリンピック 1 年前イベントでは、特に多くの人に参加した。</p>
事務局	<p>また、スポーツ推進委員を月 1 回スポーツ・レクリエーション指導として派遣しているが、参加者の推移はどうか。</p>
委員	<p>参加者は増加している。他には、学校等からボッチャ体験への指導の依頼を受けている。</p>
事務局	<p>アンケート結果の数字には反映されていないようであるが、ここ数年市として様々なことに取り組んでいる。</p>
副会長	<p>資料 5 頁の課題と対応策 (3) の「競技力の向上のための取組み」については、(1) の「気軽にスポーツを行いたい」という要望に矛盾するように感じる。スポーツの参画人口は、これまでスポーツを実施していない人を取込むことで向上するが、「競技力の向上」を掲げることとは両立しないのではないかな。</p>
事務局	<p>通勤や散歩などをスポーツと捉えなおし、気軽にできるスポーツの実施から、スポーツへの参画人口を増やしていく。その一方で、競技大会等で結果を出した人に対しても、戸田市スポーツ賞などで支えていきたいと考えている。</p>
会長	<p>事務局から出た散歩や通勤のほか、現在は、遊びや観戦もスポーツと捉えられている。「参画」という言葉を使用している以上、スポーツを「みること」、「支えること」等も幅広くスポーツとして捉えていくことも必要だ。</p>
委員	<p>「競技力」を向上することができる年齢層は限られている。例えばサッカーは 10 歳である。また、競技力を高めるために、競技を行う子どもの数がどれ位いるのかも重要である。「楽しむ」という形で子どもたちの競技への入口を沢山つくっていけば良いと考える。</p>
委員	<p>資料 2 ページの⑤に不足している施設として「体育館」が挙げられているが、体育館とはどのようなものか。学校のものか、それともスポーツセンター第 1 競技場のようなものか。</p> <p>ほかに、「トレーニングルーム」の要望は、一般家庭にないようなトレーニング器具の設置を言っているのではないかな。</p> <p>また、学校開放は登録団体向けだが、誰でも気軽に行けるように見直しをし</p>

	た方が良いのではないか。
副会長	日本の学校の体育館の設備は、世界的に見ても充実している。自由に使用できるようにになれば、市のスポーツ施設の充実に大きな力になると思うが、学校の施設であるため、実際は難しいのだろう。
事務局	ここで示した「体育館」とは設問 16-1 のとおり、学校以外の体育館である。おそらく多くの人がスポーツセンターをイメージして回答していると思う。トレーニングルームは、スポーツセンターにあるが、料金が安く常に混雑しているため、不足しているとの回答が多いものと推察する。現在戸田市内の各駅付近に民間経営を含めるスポーツジムがある。これらの施設がない時代を考えると状況は良くなるはなってきたはいると思う。 また、現在市では、平日の夜間と休日に学校の校庭を地域に開放している。
副会長	民間施設を利用しやすいように割引券を配布している自治体もある。スポーツを行っていない人を引き込むことが重要である。アンケート結果に「運動不足と感じている」と7割の人が回答していることや、「一人でも気軽にスポーツを行いたい」という人が一定数いることが読み取れることから、スポーツを行うことへの意欲はあるようだ。これにどう対応していくかが課題になる。
委員	学校の体育館はなかなか使用できない状況だ。月に1回程度で、誰でも自由に利用できるよう開放できないのか。
会長	その場合、学校なので誰が管理するのが問題になると思うが、近隣市では一般開放を実施しているようだ。
副会長	気軽にスポーツをできることと、競技力の向上は、関わらないわけではないが、どう扱っていくか検討する必要がある。競技をアピールするためにも、選手の育成をする必要がある。スポーツができる環境を整えていく必要もある。
委員	スポーツを行っていない人を取込んでいくには、総合型地域スポーツクラブに参加しやすくしていくこと、安定的に行うことが重要だと考える。月に1度でも良いので、学校開放の時間を総合型地域スポーツクラブの実施の時間にあててみてはかがか。
会長	難しいとは思いますが、「この時間に、ここに行けば、スポーツができる。」というような場を設けることが大切であると思う。
委員	市が何か実施する際の情報発信を工夫してほしいと思う。広報誌やチラシで

	広報したとしても、届かない、広報を読み込めない、という人も居る。広報の仕方についても再検討してほしい。
会長	他に意見はあるか。
委員	質疑等なし
会長	では、審議事項（３）「戸田市スポーツ推進計画基本理念（案）」について事務局より説明願う。
事務局	<b>報告事項（３）について説明</b> アンケートの結果からみえた課題及び対応策から、国や県の計画を踏まえて、次期計画の基本方針・基本目標（案）を事務局が作成し、提示。 基本方針：「誰もがスポーツに気軽に親しめる環境をつくり、『する』『みる』『ささえる』スポーツ参画人口を拡大し、スポーツの楽しさや素晴らしさを未来へとつなげていく」
会長	質問等あるか。
副会長	良い内容だと考える。他市で活動している総合型地域スポーツクラブにおいて、スポーツを「学ぶ」という考え方を取り入れている例がある。このように、可能なら「学ぶ」という視点を取り入れてほしい。「学ぶ」ことには、「指導者を育成する」ことや、「スポーツを学ぶ」こと、「スポーツで学ぶ」ことなどの意味がある。
委員	あるスポーツ協会では、コーチを集めて研修を実施している。コーチ（指導者）こそ学ばせる必要があると思う。指導者も学ぶ機会があってほしい。
副会長	アンケート結果はどう基本理念に生かされるのか。
事務局	アンケート結果から課題を分析して、この度の基本理念（案）の設定に至った。 また、今後アンケートの設問内容についても見直していくことを検討している。例えば国・県のように「スポーツ」を競技のみではなく、「徒歩通勤・通学」など幅広く捉えてもらうようにしてもらえよう見直していく。
会長	他に何か意見・質問等はあるか。
委員	質問等なし
会長	以上で議事は終了とする。
	<b>【閉 会】</b>